

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ⑩

『ワールドカップ・サッカー』

今年は4年に一度のワールドカップ・サッカーの年となりました。アメリカ・カナダ・メキシコで40日間に渡り、激しい試合が展開されています。皆さんもご覧になっていると思いますが、オランダ戦は引き分け、チュニジア戦は4対0で勝利をおさめました。第3戦スウェーデン戦も1対1の引き分けで一次リーグを突破しました。残念ながら30日決勝トーナメント1回戦で王国ブラジルに惜敗。日本が先制し、日本の強さを感じる試合でした。

今から40年以上も前から人気のあったサッカー漫画に「キャプテン翼」があります。翼は漫画の中で「ワールドカップ優勝」を目指します。ちょうど私が大学を卒業し、教職に就いた頃の漫画です。小学生たちはこの漫画に夢中になり、オーバーヘッドキックや華麗なドリブルに憧れました。先日テレビ番組を見ていたら「キャプテン翼」が日本のサッカーを盛んにし、世界中のサッカー選手に大きな影響を与え、多くの名選手たち（例えば日本の中田選手やアルゼンチンのメッシ選手）を育てたことを知りました。彼らが翼に憧れ、翼のようなサッカー選手をめざしたという話には感銘を受けました。この漫画は、日本のサッカーを盛んにし、ワールドカップをめざすきっかけになったのです。それまでのスポ根とは違い、「ボールは友達」という明るいストーリーが多くの子どもたちの夢となりました。

8月に行う「戦国武将メモリアル」の話の準備をしています。今年はNHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」が面白く、津島と関わりのある戦国武将について調べ直しをしました。服部小平太、ご存知ですか。桶狭間の戦いで今川義元に一番槍を突けた人物です。後に伊勢松坂の殿様となりました。北町の雲居寺がお寺となっています。もう一人は平野長泰。賤ヶ岳の七本槍の一人です。後に奈良の田原本で交替寄合（旗本）となりました。彼らは津島衆と呼ばれた武将です。

学校訪問が続いています。どの小・中学校も最近で一番落ち着き、学習と取り組むことができているように思います。子どもたちを見ていると積極的に手を挙げ、友達の意見をよく聞く様子を見ることができます。先生方もタブレットやプロジェクターなどICTを活用し、授業のモチベーションを高めていただいています。子どもたちはよく話を聴いていると思います。漢字の通り、目と耳と心で聴いています。人の話を聴くことが話し合いの原点になっています。また学級の掲示が工夫されています。派手でくどい掲示は姿を消し、必要最小限で考えた掲示がされています。ユニバーサルな掲示となっています。

退屈を奪う発句や春告げ鳥 （毎日新聞 東海文芸 入選）

令和8年7月1日

津島市教育委員会

教育長 浅井厚視

『東海北陸都市教育長会に出席』

今年は金沢市で総会・研究協議会が開催されました。昨年の伊勢大会では「津島の達人ジュニア検定・選手権の歩み」について事例発表をしました。早一年。「休日の中学校部活動の地域展開」「学校運営協議会」「学校の適正規模による統廃合」などについて協議しました。行政説明では「新しい学習指導要領」の「好きを育み、得意を伸ばす深い学び」「一人ひとりに寄り添う多様性の包摂(インクルージョン)」「教師力を伸ばす授業時間の再点検」についてお話を伺いました。その後で研修として金沢市内の散策を行い、金沢 21 世紀美術館・金沢城・兼六園などを見学しました。アート作品が街並みに溢れる金沢の町が大好きになって帰ってきました。「余白の美」と言うか、街並みに余裕を感じるつくりとなっていました。

初任者の先生方にお話をする機会を頂きました。教職を続けることの素晴らしさ、続けていると色々なドラマが生まれることを経験から話しました。退職する時に教え子たちが開いてくれた同窓会の話、最近もらった 35 年ぶりの消息(メール)の話。人が人に出逢うことの素晴らしさを伝えたつもりです。また津島市の魅力について「人」と「祭り」と「食べ物」から話をしました。折角だったので津島名物「柿屋饅頭」をプレゼントしました。褒めて伸ばすことの大切さと共に「叱るときは強く、短く、相手の眼を見て、過去のことでなく今のことを叱るように」してほしいとお願いしました。理不尽な指導を行わないように話しました。初任の皆さんは真剣に聞いて下さいました。

今年もロボットによるプログラミング大会を行います。ロボホンを動かすことの楽しみを実感してほしいと思います。学校では様々な場面でロボットを活用した授業をお願いしたいと思っています。少し次元が異なりますが、月初めに平針で運転免許書の更新に行きました。何に驚いたかという点、手続きが I T 化されスマートフォンが必需品となっていたことです。書類も写真もタブレットでした。そういえば昨年中国を訪問した時も、自動販売機の買い物すらすべてがキャッシュレスでした。これからの子どもたちにとって I T の活用は日常となっていくと思います。I T から逃げるのではなく、プログラミング大会にも果敢に挑戦してほしいと思います。保護者や地域の皆様にお願ひがあります。子どもたちが自立できるようアドバイスをしてやってください。大人が問題を解決したり、回答を用意したりするのではなく、子どもたちが問題に立ち向かえるような助言をお願いしたいと思っています。

研修へ旅立つ朝や余寒あり

令和 8 年 5 月 1 日
津島市教育委員会 浅井厚視